

親子

- ・本を通して世界に対する興味をかきたてる。
- ・親子で絵本が読める。
- ・子どもたちが本に親しむきっかけになる図書館。
- ・休日に親子でショッピングしたあと、利用ができる。
- ・子どもが走り回ってもOK。
- ・駐輪場を充実して、児童にも優しく。
- ・ゲームの元ネタを紹介して子どもの興味を引き出す。

地元愛

- ・ここに来れば豊橋でのイベントがすべて見られる、公の施設のイベントはすべて公開、私的な施設については申請があったものを。
- ・豊橋の知らないこと、気付いたことに価値を見つけて発信できる。
- ・豊橋の人が豊橋の事を伝えることができる。
- ・献本する本を司書と相談できる制度を通じて市民参加。
- ・いつでもだれでも豊橋を感じられる。

サービス

- ・朗読室等、聴覚障害者の方に対応する。
- ・意欲を持った司書・職員がいる図書館。
- ・駐車券を出してほしい。
- ・有能な正職員の司書を配置して。
- ・外国語図書の充実。豊橋の人口の4%は外国語読者。
- ・読みたい本がまちなか図書館にないとき、他図書館から借りてくれる。
- ・雑誌の種類が多くて深夜まで使える。
- ・勤務後に立ち寄れるように、週に何日か夜間営業、21時ごろまで利用できる。
- ・何年何月に日付入りで自分の読んだ本を記録できるカードを発行できるサービス。
- ・本を読みたくなった人が読みたくなる本を見つけることができる図書館。

いごこち

- ・田原のような雰囲気の良い使いやすい。
- ・誰とでもフラーっと立ち寄れる。
- ・いつでも気分転換とやすらぎが得られる図書館。
- ・週に何度でも定年退職した方が今まで読むことができなかつた本を利用できる。
- ・使っていることで、自分がかっこ良く感じられる図書館。
- ・その場所にまつわる記憶を伝える。100年前を記録し、100年後の人々に伝える。

情報

- ・市民の方がセミナーを出来るようなスペースがあったら良いと思う。
- ・「知」のまちなか中心スポット。
- ・いつでもだれでも情報を受け取れる。
- ・日常生活の課題を解決するヒントを提供する。
- ・本に興味を持ってもらう、次には課題解決のために利用できるように利用者をステップアップさせる。
- ・若者や無職の人たちが就職に関する情報を調べられる。
- ・ブログなどの情報発信の元になる情報を入手できる。
- ・昼間にビジネスマンがパソコンを持ち込んで調べ物をする。
- ・wi-fiほしい。
- ・著作権があるかもしれないけどコピーができるスペースがあるといい。

連携

- ・コンビニ併設した施設があったら良い。
- ・夜、会社帰りにサラリーマンがお酒を楽しみながら本を楽しみたい。
- ・休みの日に広場で寝転びながら本を読む。
- ・気に入った本は購入することができる。
- ・昼下がりにコーヒーを飲みながら本を楽しむ。
- ・昼休みに周辺の住人がランチしながら読書会をする。
- ・夕方に主婦が料理本を片手に食材を買うことができる。
- ・精文館、豊川堂などの書店の在庫を検索できる。

その他

- ・いろんなことができる、したい。

感想

- ・各人いろんな思い、考え方があって面白かったです 素晴らしい図書館になりますように、みんなの考えが通じるといいと思います。
- ・6人寄れば文殊の知恵でした。
- ・世代を越えた交流 (B)、水の流れる図書館 (A)、市民司書 (A)
- ・図書館をイノベーションしたい。
- ・交流。
- ・ゲームの元ネタなど子どもへのアプローチが良い。地元コンテンツの発信基地的な役割は図書館ならではの。自分がかっこ良く感じられるというのは大事だと思う。